

6th IRTG Joint Symposium への参加

理学研究科理学専攻 量子化学研究室
博士前期課程2年 林まなみ

出張先 : ドイツ, ミュンスター大学

出張期間 : 2024.05.04-11.

出張目的 : 6th IRTG Joint Symposium への参加

【概要】

シンポジウム1日目には、教員による講演の聴講・ポスターセッションでの発表を行った。2日目にはミュンスター大学の Studer 教授, García Manch. 教授, Neugebauer 教授と30~60分間ずつディスカッションを行った。シンポジウム前日には、ミュンスター大学の学生と交流し大学周辺の散策を行った。

【所感】

ポスター発表では Neugebauer グループの学生2人と特に密に議論を行った。研究の要となる理論に対して理解を深めることができ、また自身の研究の立ち位置を改めて把握することができた。セッションは昼食も兼ねたフランクな雰囲気のものであり、他の現地の教員・学生とも研究の話題だけに限らず楽しく話すことができた。

Studer 教授, García Manch. 教授とのディスカッションでも、自身の研究に関して議論を交わした。有機化学分野の先生方に、自身の研究を事細かく説明する機会は国内でも少ないため、大変貴重な機会となった。鋭い質問を複数いただき、異分野的視点から研究を考え直すことができた。Neugebauer 教授とは今後予定しているドイツ留学に向けて、滞在時に取り組む研究に関して柳井教授と共に話し合いを行った。

シンポジウム前日には、現地の学生との大学周辺の散策に加え、Neugebauer グループの学生にオフィスを案内してもらった。本出張全体を通して、現在計画中であるミュンスター大学での研究活動の具体像を掴むことができたと感じている。

